

# 茨木から矢をはなつ!

● 矢島ひでかずプロフィール ●  
 昭和55(1980)年10月13日生まれ。両親はともに聴覚障がい(ろう)者。追手門学院大学卒業、同大学院修了。衆議院議員秘書、追手門学院職員を経て、現在は幼稚園・小学校の課外活動ロボットプログラミング講師を務める傍ら、市内各団体に所属して茨木のまちづくりに携わる。無党派。



やじま 令和7(2025)年1月  
**矢島ひでかず**  
**通信 第24号**

編集・発行人 矢島ひでかず  
 [事務所] 〒567-0817 茨木市別院町4-1-704  
 [自宅] 〒567-0085 茨木市彩都あさぎ1-2-18-701  
 ☎090-3928-6958 ✉info@yajima-hidekazu.com  
 ウェブサイト <http://yajima-hidekazu.com>  
 フェイスブック <https://www.facebook.com/yajima.hidekazu>



## (1) 教育政策三本の矢

→→→→→ 一の矢 →→→→→

### 小・中学校給食費完全無償化で 子育て世帯の経済的負担↓

今月から始まった中学校給食費(1食あたり330円)の無償化。小学校給食費(1食あたり低学年220円、中学年230円、高学年240円)についても再び無償化できるように提案し、子育て世帯の家計を応援します。

→→→→→ 二の矢 →→→→→

### 習い事・塾代等助成事業新設で こどもの学習機会↑

子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、こどもたちの個性や才能、学力や学習意欲を伸ばす機会を提供するために、市内在住の小学1年生～中学3年生を対象に学習塾などの費用助成事業の新設を目指します。

→→→→→ 三の矢 →→→→→

### ICT(情報通信)教育拡充で 不登校児童・生徒の支援↑

茨木市内の全児童・生徒数に占める不登校児童・生徒の割合は、平成30(2018)年度当時の1.08%から2.77%に2.5倍増。教員不足対策もさることながらまずは不登校児童・生徒が安心して学べる環境を整備します。

## (2) 新しい年を迎えて

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。旧年中は“無党派”矢島ひでかズの政治活動に対しまして、ご理解ご協力を賜りましたこと、衷心より感謝御礼申し上げます。新たな令和7(2025)年が皆様にとって、素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げますとともに、引き続き、矢島ひでかズの政治活動にご注目いただきましたら幸いです。本年も宜しくお願いいたします。

昨年7月8日(月)から駅頭でのご挨拶を再開させていただいて以来、1月1日(水)現在で178日連続の駅立ちを達成することができました。半年間、一日も欠かさずご挨拶に立ち続けられたのも偏に、本紙を手にとっていただく方はもとより、激励の声をかけてくださる方、挨拶を返していただく方、SNS上でリアクションしてくださる方のお陰です。これからも毎日、阪急茨木市駅西口に立ち続けることにより、お困りの際に即対応できる政治家を目指します。



↑毎日欠かさず通勤通学・ご通行中の皆様にご挨拶しています。

### (3) 政治を志した原点

私の両親はともに耳の間こえない聴覚障がい者です。字幕のない時代、物心ついた頃から両親の耳代わりとなり、TVや外出先での手話通訳。私の役割は周囲の音や声を両親に送り届けることでした。

こうした家庭環境に生まれ育ち、社会に育てていただいたという感謝の思いから、周囲に対して、手を差し伸べることを学びました。

一方、私の子ども時代は、聴覚障がい者に対する理解が今日ほど進んでおらず、誤解に基づいた差別や偏見に傷つけられることも…。

それでも、臆することなく、手話の普及やろうあ運動に奔走する親の背中が誇らしく、コーダ(Children of Deaf Adults=両親の一人以上が聴覚障がいを持つ、聴こえる人)としての自らの使命を考える中で、社会に育てられた恩返しとして、人生を社会に捧げることを決意。少数者であるがゆえに、行政に反映されにくい方々の“声なき声”を届けるために市政へ。これが政治を志した原点です。



↑生徒たちからのリクエストで、授業後に手話を教えることも。

### (4) 矢島ひでかず経歴

- ➔ 昭和 55 (1980) 年 10 月 両親ともに耳の間こえない家庭に生まれ育つ。(現在 44 歳)
- ➔ 平成 15 (2003) 年 3 月 追手門学院大学 文学部 卒業
- ➔ 平成 18 (2006) 年 3 月 追手門学院大学大学院 文学研究科 修了
- ➔ 平成 18 (2006) 年 4 月 衆議院議員大塚高司 秘書
- ➔ 平成 23 (2011) 年 4 月 学校法人追手門学院 職員
- ➔ **平成 29 (2017) 年 1 月 茨木市議会議員一般選挙 初挑戦 (1,237 票、定数 30/36 位)**
- ➔ 平成 29 (2017) 年 4 月 子ども向けロボットプログラミング教室プログラボ茨木 室長
- ➔ **令和 3 (2021) 年 1 月 茨木市議会議員一般選挙 再挑戦 (1,319 票、定数 28/32 位)**
- ➔ 令和 3 (2021) 年 12 月 追手門学院小学校放課後活動ロボットプログラミング 講師 (現在)
- ➔ 令和 5 (2023) 年 4 月 追手門学院幼稚園課外教室プログラミングラボ 講師 (現在)

#### ■ 所属

- ➔ 茨木から矢をはなつ会 代表
- ➔ 異業種交流会茨Oh! 会員
- ➔ 茨木JCシニアクラブ 会員
- ➔ 茨木市観光協会 認定ボランティアガイド
- ➔ 茨木市相撲連盟 事務局次長
- ➔ 茨木じゃがいもゴルフクラブ 会員
- ➔ 茨木市倫理法人会 幹事・MSインストラクター
- ➔ 茨木青年会議所 賛助会員
- ➔ いばらき竹灯籠実行委員会 委員
- ➔ いばらき絆餐会 会員
- ➔ 茨木フェスティバル実行委員会 学生顧問
- ➔ 茨木ライオンズクラブ 社会奉仕委員長
- ➔ 自衛隊茨木協力会 会員
- ➔ BLUE PALETTE 実行委員会 委員
- ➔ 追手門学院大学校友会 理事・広報副委員長
- ➔ 大阪防衛協会青年部会 会員 (ほか計 20 団体)



↑地元の第56回茨木地区体育祭(茨木小学校)で競技前の1枚。